



手城小だより

福山市立手城小学校
2024年(令和6年)
12月20日(金)

【学校教育目標】 自他を認め合い、主体的に生きる力をもった児童の育成

「好き」は夢のかけら 「好き」をたくさん増やして



12月11日(水)手城幼稚園の須賀綾香先生を講師にお迎えして「ようこそ先輩～幼稚園の先生が伝えたい～自分の好きを集めよう、世界で一番簡単な夢の見つけ方」というテーマで6年生にお話ししていただきました。

はじめに、幼稚園の子供たちに人気の「こんちゅう太極拳」で思いきり身体を動かし、リズム遊び体験をしました。その後、幼稚園と保育所、子ども園の違いや、園で大事にしていること、園での1日の生活、園児とのエピソード、先生になろうと思ったきっかけなど話していただきました。

花が好き、ピアノが好き、歌が好き、話すことが好き、子供が好きだったことから幼稚園の先生になった須賀先生。「将来の夢のもとになった『すき』を集めたら自分のやりたい仕事が見つかります。『すき』は夢のかけらです。『すき』なことをたくさん増やしてください。」と6年生に語りました。



須賀先生のお話を聞いて～6年生の感想～

- 自分の夢を見つけるためには、自分の好きなことをたどっていくといいと学びました。これから得意なことや好きなことを増やしていきたいです。ぼくが通っていた幼稚園でも先生が言われたように5つのことを考えていたのかな？と思いました。幼稚園の先生があんなに大変な仕事なんだと知ってびっくりしました。
- 幼稚園は遊ぶところだと思っていたけど、「遊びの中で学ぶ」ところだと分かりました。遊びは意味があることが分かりました
- 僕は教師を目指しています。好きなことをたくさん集めて夢が実現できるようにしたいです。
- 幼稚園の先生側の苦勞を知りました。年長さんが私たちにあこがれていると聞いて心がほかほかしました。
- 将来の夢をもっと楽しめるようになる方法を教えてもらいました。夢なんてかなうわけないと思っていたけど、頑張ろうと思いました。
- 好きなことがあるほど職業選択の数が増えると思いました。

育ちと学びをつなぐ 一幼保小の架け橋一

子供たちの成長は、家庭から保育所、認定こども園、幼稚園、小学校へと続いていきます。子供たちの健やかな成長を願う気持ちは全ての職員の願いです。本校では、学びや発達が円滑に接続していくよう、幼保小連携を推進しています。

「小学校ってどんなところ?」「小学校ではどんなことをするの?」「楽しいといいなあ」「お兄さん、お姉さんみたいになりたいなあ」こんな子供の思いに応えるために、学校見学をしたり、合同避難訓練や1年生との交流をしたりしてます。そして、小学校での過ごし方のイメージをもち、入学への不安を解消し、1年生になることが楽しみになるよう取り組んでいます。



「秋のテーマパークへようこそ」1年生が手城幼稚園、あんず・手城子ども園のみなさんを招待



あんず子ども園の年長さんが、学校見学で1年生の授業を参観



手城幼稚園と合同避難訓練

小学校の図書室で読書

子供たちとの交流だけでなく、職員同士が集まって、幼保小合同研修会を行ったり、小学校の初任者が幼稚園・保育園を訪問して、保育参観をし、園長先生から幼児教育のねらいをお話していただいたりしながら、「遊びから学びへつなぐ」ための接続を学んでいます。